



TSUNAGU

令和2年12月2日
我孫子市小中一貫教育だより
第229号

小から中への滑らかな接続において

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうきちさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

白山中学校区にて児童会と生徒会の交流が行われたうなー！

今年度、白山中学校区では、ICT を活用した児童生徒の交流や、教職員の交流に取り組んでいます。今回は、児童会と生徒会の代表児童、生徒の交流が行われました。

児童生徒のリモート交流会が行われました

11月17日に、白山中学校、我孫子第一小学校、我孫子第四小学校で、児童会と生徒会の代表児童生徒による、Zoom を利用したリモート交流会が行われました。

この日、参観させていただいた我孫子第四小学校では、児童会のメンバーも集まり、交流の様子を見守っていました。



始めに、我孫子第一小学校の校長先生から、コロナ禍の中でも、工夫すればできること、交流についての計画など児童会生徒会のみなさんには中心となって活躍してほしいことなど、今できることに力を尽くしていくことの大切さが語られました。

続いて、今回は、小学校2校の児童会長から中学校の生徒会長への質問というかたちで、話し合いが行われました。小学校からは、中学校の生活や学習について質問が出ていました。授業やテストのこと、部活動のことなど、進学にあたり

気になることはたくさんあったようです。生徒会長からは、それら一つ一つへの丁寧な回答と、進学に向けてのアドバイスなどがありました。

児童会長の2人は、「話を聞いて、不安なことが解決できて、良い機会となった。」「(中学校は)小学校と変わることがあるかと思ったけれど、小学校の延長線上ということで安心した。」と感想を述べ、生徒会長からの「一小、四小の皆さんが仲間になることを楽しみにしている。」という言葉で、今回の交流は幕を閉じました。

リモート交流会終了後、我孫子第四小学校では、校長先生から児童会の子どもたちへ「集まらなくても、できることがある。皆さんには四小の代表として、これからもいろいろと考えてほしい。」と語りかけると、さっそく子どもたちから、やりたいことをつぶやく声が聞こえてきました。



募集中

今年度は、例年通りの小中一貫教育交流活動等が難しい状況にあるうな。そんな中でも、工夫して取り組んでいること、ぜひ市内で共有していきたいうな。「うちの中学校区ではこんな取り組みをします！しました！」大募集うな～！ 【ご連絡は小中一貫教育推進室まで！】

